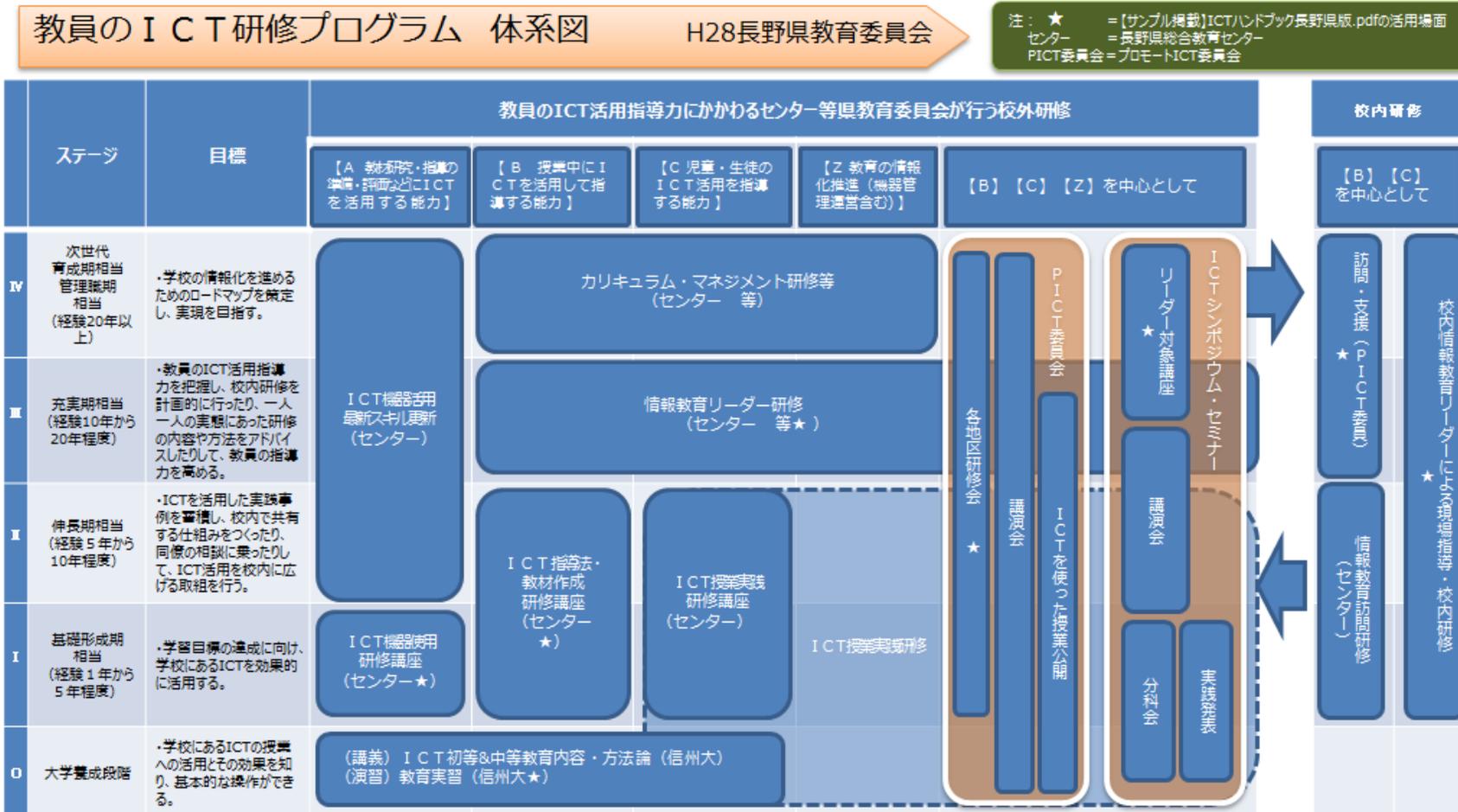


様式2 研修プログラム（研修カリキュラム及び研修教材等）概要

自治体名（教育委員会名）	長野県（長野県教育委員会）
--------------	---------------

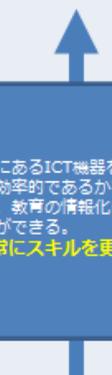
I 研修プログラム構成要素一覧



教員のICT研修プログラム 育成指標

H28長野県教育委員会

注：★ = [サンプル掲載]ICTハンドブック長野県版.pdfの活用場面
センター = 長野県総合教育センター
PICT委員会 = プロモートICT委員会

ステージ	目標	教員のICT活用指導力にかかわる資質能力を支えるスキル				数値目標
		[A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力]	[B 授業中にICTを活用して指導する能力]	[C 児童・生徒のICT活用を指導する能力]	[Z 教育の情報化推進(機器管理運営含む)]	
IV 次世代育成期相当 管理職期相当 (経験20年以上)	・学校の情報化を進めるためのロードマップを策定し、実現を目指す。	 <p>学校にあるICT機器をより効果的・効率的であるかを評価しながら、教育の情報化に取り組むことができる。 (常にスキルを更新する)</p>	学校にあるICTの環境を整え、学校の情報化を進めるロードマップを策定できる。 (学校全体の指導計画を立てる)			
III 充実期相当 (経験10年から20年程度)	・教員のICT活用指導力を把握し、校内研修を計画的に行ったり、一人一人の理想にあった研修の内容や方法をアドバイスしたりして、教員の指導力を高める。		学校にあるICTを効果的に活用して授業を進めるため、校内教員の現状を把握し、改善点を明らかにした上で校内の研修計画を立案できる。 (学校の先生方と一緒にやってみる)	情報教育リーダーとして校内研修を企画し実践できる。 (校内をリードする)	情報教育リーダー 各校に3人 (約2000人)	
II 伸長期相当 (経験5年から10年程度)	・ICTを活用した実践事例を蓄積し、校内で共有する仕組みをつくり、同僚の相談に乗ったりして、ICT活用を校内に広げる取組を行う。		学校にあるICTを効果的な授業場面で活用できるよう、教科・学年など校内へ広げることができる。 (教科・学年へ広げる★)	学校にあるICTを子どもが効果的に活用する授業を教科・学年など校内へ広げることができる。 (教科・学年へ広げる)	80%	
I 基礎形成期相当 (経験1年から5年程度)	・学習目標の達成に向け、学校にあるICTを効果的に活用する。		学校にあるICT機器を効率的に活用して授業準備・評価ができる。 (自分で準備してみる★)	学校にあるICTを効果的に活用して授業ができる。 (自分でやってみる★)	学校にあるICTを子どもが効果的に活用する授業ができる。 (自分が子どもたちとやってみる)	80%
O 大学養成段階	・学校にあるICTの授業への活用とその効果を知り、基本的な操作ができる。		学校にあるICT機器を知り、ICT機器操作の練習をする。 (自分でICTを操作してみる★)	学校にあるICTを用いた授業計画を立案し、効果的な場面を考えて準備を進めたいうで試すことができる。 (自分で試してみる★)		100%

II 各研修等のプログラム

1	研修等の名称	校内情報教育リーダーの育成のための研修講座
---	--------	-----------------------

- (1) 研修等の対象者 : 各学校の情報教育リーダー
 (2) 研修プログラム活用の方 : 研修センター等の機関研修
 (3) 研修等の期間・時間 : 一日 (6時間)
 (4) 研修一覧表

研修等のコマの名称	主な内容	時間	※	備考
先進・優良事例紹介、ICT活用デモ	<p>【ねらい】 学習形態毎(一斉授業、個別学習、協働的な学習)の先進事例の紹介方法を知る</p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業事例紹介(県内情報教育推進委員により) ・ICT事例を見るための観点整理(授業の場面毎のVTR) ・ICT活用による授業改善の効果の確認 (ICTハンドブックより、タブレットPC実演) 	1.5時間	◆【サンプル公開】:長野県ICTハンドブック.pdf	
教育情報化概論、教育情報化トレンド	<p>【ねらい】 教育の情報化に関する基本的知識を知り、子供たちが身に付ける学力から広い視点での活用の必要性を知る。</p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学教員や文部科学省講師より講義 ・教育の情報化が目指す教育像について ・教員のICT活用指導力の推移、国の事業の動き紹介 	1.5時間		大学教員や文部科学省講師より
ICT活用模擬授業、ICT活用授業設計ワークショップ	<p>【ねらい】 ICT活用の効果を実感して、日々の授業での活用ポイントを知る。</p> <p>【主な内容】</p>	1.5時間		大学教員と連携

	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用授業の設計にあたっての観点の確認 授業づくりワークショップ（大学教員と連携） 目的に応じた授業へのICT活用場面の検討（模擬授業・意見交換） 			
校内の教員のICT活用指導力向上研修の運営	<p>【ねらい】</p> <p>教員の実態に沿いながら、段階的にステップアップするために必要な研修の設計・実施に関する知識を知る。</p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進校や情報教育委員の校内研修の事例紹介や、大学教員の助言 自校の教員のICT活用指導力の実態を確認 自校教員のスキルレベルに応じたステップに沿ったカリキュラムの検討 	1.5時間		

2	研修等の名称	大学と連携したICT研修プログラム
---	--------	-------------------

- (1) 研修等の対象者 : 各学校の情報教育リーダー
- (2) 研修プログラム活用の方 : 大学における講義・演習・公開講座
- (3) 研修等の期間・時間 : 2時間
- (4) 研修一覧表

研修等のコマの名称	主な内容	時間	※	備考
教育実習、集中講義によるICT研修	<p>【ねらい】</p> <p>学習形態毎（一斉授業、個別学習、協働的な学習）の先進事例の紹介と指導方法を知る</p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンドブックの評価、アンケート 教育現場の理解と演習、アンケート 	2時間		

3	研修等の名称	校内ICT研修プログラム
---	--------	--------------

- (1) 研修等の対象者 : 各学校の情報教育リーダー
 (2) 研修プログラム活用の方 : 実証校における校内研修
 (3) 研修等の期間・時間 : 1回15分から1時間
 (4) 研修一覧表

研修等のコマの名称	主な内容	時間	※	備考
教員の希望に応じた ICT ミニ研修	①プレゼン作成の基礎 ・授業で使える教材を作ろう。 ②電子黒板と実物投影機講座 ・実物投影機に映し出されたものを電子黒板に取り込み、画面へ書き込もう。 ③タブレット PC 講座 (基礎編 or アプリ活用編) ・タブレット PC に触れよう。 ・タブレット PC の画面をモニタに映そう。 ・写真を撮って授業で使おう。 ④デジタル教科書講座(基礎編 or 応用編) ・模擬授業を通して学ぼう。 ⑤タブレット PC 版ドリル学習講座 ・子供になってやってみよう。 ⑥授業支援アプリ講座 ・子供たちの学習を共有化しよう。	それぞれ 15分から 1時間		

4	研修等の名称	ICTを使った授業の公開
---	--------	--------------

- (1) 研修等の対象者 : 各学校の情報教育リーダー
 (2) 研修プログラム活用の方 : その他の研修の方 (授業公開)

(3) 研修等の期間・時間 : 約2時間

(4) 研修一覧表

研修等のコマの名称	主な内容	時間	※	備考
教育実習、集中講義 による ICT 研修	<p>【ねらい】 学習形態毎(一斉授業、個別学習、協働的な学習)に ICT を活用した実践例を見て指導方法について理解を深める。</p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業説明 (本時に至る過程の説明 (機器整備状況とその過程の紹介も含む) と本時のねらいと ICT の活用場面の説明) ・ 公開授業 ・ 授業協議 (授業者の反省、本時のねらいの達成状況についての意見交換) 	約2時間		

5	研修等の名称	集合 ICT 研修プログラム
---	--------	----------------

(1) 研修等の対象者 : 各学校の情報教育リーダー

(2) 研修プログラム活用の場 : その他の研修の場 (ICT セミナー)

(3) 研修等の期間・時間 : 一日 (6時間)

(4) 研修一覧表

研修等のコマの名称	主な内容	時間	※	備考
集合 ICT 研修	<p>【ねらい】 県内小中学校の教員が ICT を活用した指導力向上を図るため、校内の ICT 研修を積極的に進めている学校の発表や大学の先生の講演会、パネルディスカッション、タブレット PC を用いた模擬授業等での体験を行うことで、授業への ICT 活用を目指す。</p> <p>【内容】</p> <p>①先生たちが作る ICT 教材展</p>	①1時間		

	<p>・県内の小中学校の先生が授業で使っているものを持ち寄り演示、ポスター等で出展し意見交換を行う。</p> <p>②「触ってみよう 体験しよう ICTを使った授業」(ア～ウから一つを選んで演習)</p> <p>ア 実物投影機を用いた授業改善についての演習</p> <p>イ タブレット PC を活用した協働的な学習についての演習</p> <p>ウ 小学校のプログラミング教育必修化に向けた演習 (タブレット PC でロボットを動かしたり、PC 上でプログラミング体験した上で授業への活用を考えます)</p> <p>③「校内 ICT 研修の取組～どうすれば校内の ICT 活用が進むのか～」(情報教育研究委員による)</p> <p>④「(仮) 全校で取り組む ICT 環境整備と教員研修 」(大学教員による講演やパネルディスカッション)</p> <p>*現場の視点や、研究者の視点から、自ら考え、判断し、表現する力を育成する授業の充実のための ICT の授業への活用についての考えを述べていただき、ディスカッションを行う。フロアからの意見も引き出し、今後の教員の ICT 活用指導力向上のために大切な事が何かを考えるようなものにする。</p>	<p>② 2 時間</p> <p>③ 1 時間</p> <p>④ 2 時間</p>		
--	---	---	--	--